



第137号
特定非営利活動法人
環境パートナーシップちば

TEL : 090-8116-4633
E-mail : info@kanpachiba.com
<https://kanpachiba.com/>

持続可能な社会を目指し、着実な歩みと希望の年に

特定非営利活動法人環境パートナーシップちば 代表理事 桑波田 和子

新年おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の脅威が世界中に広まり、収束できないまま、令和3年が始まりました。SDGsの環境・経済・社会のバランスが重要と痛感させられた年でもあり、現在もこのバランスの難しさに直面しています。

この状況の中で、昨年は当会の主な事業の一つ「SDGsを達成するためのESD地域リーダー担い手育成事業」の3年目の活動を9月からスタートしました。また事務局機能として関わる「エコメッセ2020inちば」はすべてがオンライン開催となりました。

コロナ禍の中、正しく恐れ安全に活動できる術を探し、協議し、活動ができることに挑戦する年ともなりました。その中で、オンラインを活用し

交流の場を作ることができるようになったのはコロナ禍でのメリットです。

一方デメリットとしては、お互いが対面して交流するリアルな状況が作れないもどかしさがあります。

今年の干支の丑は「十二支の2番目で、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくといわれている」との記載を見つけました。

気候変動の危機、新型コロナ等、喫緊な課題もありますが、持続可能な社会を作る！と、明るい希望と行動力を発揮する令和3年となりますように、皆さまとご一緒に向かっていきましょう！

新しい年を迎えて

千葉県環境生活部循環型社会推進課長 横山 尚典

令和3年の新春を迎え、(特非)環境パートナーシップちばの皆様におかれましては、ますます御清祥のことと心からお喜び申し上げます。

皆様には、日頃から、持続可能な社会づくりに関連する幅広い活動を実践されますとともに環境学習や地球温暖化対策など県の環境施策の推進に御協力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響で社会全体が多くの変革を迫られた一年となりました。様々な主体との協働の場として毎年開催しているエコメッセについても、開催形態を集客型からオンラインへと転換する新たな試みにより、伝統ある催事の歴史を繋ぐことができました。これもひとえに桑波田代表理事をはじめ皆様の御尽力の賜物であり、この経験を活かし、共に更なる発展の道を歩めることを願っています。

さて、県では昨年末に「千葉県海岸漂着物対策地域計画」を改定したほか、現在「千葉県環境学

習等行動計画」や「千葉県食品ロス削減推進計画」の策定に向けた手続きを進めており、いずれもSDGsを踏まえた今後の環境施策の基盤となる計画です。

SDGsを掲げる2030アジェンダの理念にあるように、持続可能な社会の実現には、経済、社会及び環境の三側面の調和を念頭に置く必要があります。県においても本理念を踏まえた施策を展開してまいります。諸課題の解決のためには主体間連携が不可欠であり、皆様の活動が大変重要です。今後ともお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、(特非)環境パートナーシップちばの一層の御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



第3回 ESD 地域リーダー育成事業（南房総・市原）

第3回 ESD 地域リーダー育成事業は、11月16日（月）に南房総会場（とみうら元気倶楽部）、11月29日（日）に市原会場（サンプラザ市原）でそれぞれ開催されました。

「ESDの視点を入れた環境学習プログラム」は、まだフォーマットに書き込んでいる途中ですが、メンバーのみなさんが、あふれんばかりの書き込みみたいこと・想いを抱いていらっしゃるの、かえってフォーマットに「押し込める」のがむずかしそうです。

グループワークでは、サポーターやメンバーの多くがバリバリ活動中の方なので、自分たちの経験を出し合ったりアイデアを提案したりして、どのグループも熱く盛り上がっていました。

また今年度の特徴として、メンバー同士のコラボレーションがいくつか生まれていることが挙げ

られます。それが作成中のプログラムに早速盛り込まれていくのは、事務局としてもうれしい限りです。

プログラムにアドバイスしてくださるファシリテーターの石井さんも、「いやー、おもしろい！」と思わず口から洩れるほどで、あっという間に終了時刻になってしまいました。

サポーターやプラットフォームづくりのメンバーにも、聞いてコメントをいただくはずだった1月25日の「プログラム発表会」が、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、リモート形式で変則的に行うことになったのでとても残念ですが、2021年3月末には「ESDプログラムガイドブック2020」としてとりまとめ、公表する予定です。みなさま、どうぞお楽しみに！（文責：小倉 久子）



富浦会場（11月16日）



市原会場（11月29日）

「ESD 推進ネットワーク全国フォーラム2020」オンライン参加報告

2020年12月19日（土）9:30～17:30の8時間オンライン開催に、意を決し参加いたしました。運営のご苦勞を感じましたが、あっという間で濃い内容に、参加して良かったという感想でした。

テーマの「SDGs 実現に向けた人づくり～ESD 推進ネットワークがつなぐ多様な主体の連携協力～」は、NPO 環パちばが目指すところ、ぴったりの内容と思いましたが、ESD 地域拠点に募集があったポスターセッションにも応募しました。<https://esd-forum.com> からぜひご覧ください。この特設ホームページでは当日資料の閲覧をすることもできますので、この紙面ではプログラムを紹介させていただきます。

基調講演（9:50～12:30）①持続可能な社会の創り手の育成に向けて：石田さん（文部科学省）②SDGs 実現社会に期待される人材育成の取組：三木さん（環境省）③SDGs が創る世界と創り手を育む ESD～持続可能性が試される時代を迎えて～：及川さん（東京大学海洋教育センター）④ESD

を通じた授業づくりと地域連携：關口さん（南鶴牧小学校）⑤ESD for 2030 のさらなる推進に向けた市民社会からの期待：鈴木さん（NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議）

分科会①（13:30～14:50）①-1「次世代を対象とした SDGs 人材育成活動の探究と実践」話題提供：松井さん、草野さん ①-2「SDGs の取組を社会実装するための ESD」：堺さん、平野さん

分科会②（15:00～16:20）②-1「学校と地域が連携して SDGs の人材育成を進める学習指導（プログラム）案の作成と実践」：新宮さん、阿部さん、亀崎さん／中堤さん ②-2「地域のレジリエンスと ESD」：小川さん、西村さん

以上ですが、基調講演では今後の指針がある情報が聞け、これからは地域も頑張ろうという内容でした。分科会の話からは、各地域での活動に様々な学びがあって、自身の学びに繋がる貴重な1日でした。（文責：横山 清美）

「自然と共生する持続可能な都市を目指して

～流域思考でつながる相模・武蔵・下総・上総の

防災・多自然都市づくり～」

みらい seeds（椎津川水系と里山を愛する会）平野なおみ

日時：2020年12月19日(土) 13:30～16:30

参加者：50名

(内訳：Co-Saten会場12名(登壇者含む)、市原市役所会場(市職員)5名、オンライン33名)

【プログラム】

第1部 事例報告

「真間川流域における総合治水対策・市民協働の川づくり」

市川緑の市民フォーラム事務局長 佐野郷美氏
「市原市の現状と課題」

市原市役所 企画部長 高澤良英氏

「流域思考3題 ①鶴見川流域総合治水 ②鶴見川多自然流域づくり ③流域思考の小網代保全」

慶応義塾大学名誉教授・NPO法人鶴見川

流域ネットワーク代表理事 岸由二氏

第2部 シンポジウム コーディネーター

東邦大学 理学部 教授 長谷川雅美氏

2019年、『奇跡の自然』の守りかた 三浦半島・小網代の谷から』(岸由二・柳瀬博一著、ちく

まプリマー新書、2016年)に感銘し、現地を訪れました。源流から河口まで1.2キロの川の流域(集水域)の森がまるごと守られ、岸先生たちのNPO法人によって森や川の湿原の「手入れ」が続けられています。小網代のほか、鶴見川流域も「流域思考」による実践です。市原市生物多様性戦略協議会委員 長谷川雅美先生(東邦大学)は、岸先生の大学院の後輩であったご縁で、「流域思考」を学び、交流する場として、本イベントを企画し、実現にご尽力くださいました。岸先生から、椎津川流域は30年前の鶴見川流域に似ていると嬉しい感想をいただいています。東京湾岸流域の交流がここから始まったとふりかえる日が来るよう、学び始めた「流域思考」を指針として、実践を進めて参ります。



講師・パネリスト

リサイクルクラフト ホタテガイのデコパージュ

そごう コトモノカレッジ「クリスマスはアートでメッセージを伝えよう」に出展

そごう千葉店さんから“コトモノカレッジ”の企画に出展のお誘いを受け、12月12日(土)に「リサイクルクラフト ホタテガイのデコパージュ」で出展させていただきました。そごうさんからのお誘いは、この夏の子供向け企画に次いで2回目となりましたが、歴史もあり地域に密着されて、事業者としてもSDGsをテーマに取り組んでいらっしやるので、環パとしても誘っていただけで良かったと思います。

とはいうものの、寒い季節になり新型コロナウイルスの感染拡大の影響の心配もありました。当初は事前申込制でしたが、実際には申込者が少なかったため、随時受付の体制で行いました。店内会場は明るく暖かく広々としたスペースで、消毒スプレー、マスク、フェイスシールドを用意し、受講者が入れ替わるたびに道具も机も消毒する、かなり神経を配った対応を心掛けました。サンプルを見せながら呼び込みをしました。

ホタテガイの形は魅力的で、デコパージュの方法もとても簡単なのがチャームポイントです。そごうさんの企画の常連さん、手芸や工作が好きで

時間に余裕があるという方、若いカップルさんの参加がありました。

「ホタテガイのデコパージュ」は、おいしいホタテガイに育つ海には、実は森の豊かさが無縁ではなく、森・川・海の豊かな循環が必要なこと。それから、デコパージュという装飾技法であきびんや箱などをオシャレにリメイクし、物の寿命を延ばすことで3Rの行動にもつながることを伝えました。

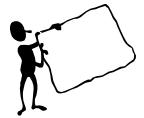
今回は百貨店という華やかな商業施設、かつ材料費徴収での企画という、いつものような公的な場所とはやはり雰囲気は異なりました。私たちもいろいろな場所で展開できるように、内容を深めスキルアップを図る努力が必要です。



(文責：中村 明子)

県内の環境保全活動人（団体）紹介 — 58 —

おききました！ この人・この団体



「地域おこしの経験を活かし、新しい森林浴体験をつくる」

相川千晶（森林浴ファシリテーター受講中）

総務省が行う地域への移住促進のための「地域おこし協力隊」という取組があります。私は平成29年11月から令和2年10月までの3年間、千葉県南房総市の地域おこし協力隊として、観光推進、主にヘルスツーリズム推進業務全般に携わってまいりました。豊かな海・森林・食といった自然資源を活用し、「健康」という視点から新たな価値を加えるのがヘルスツーリズムです。私は主にプログラム開発と多くの人に知ってもらうための情報発信を担当していました。

具体的には、NPO 法人千葉自然学校と連携して、大房岬自然公園にある森林セラピーロードを中心に、ウォーキングプログラム開発や提供するガイド人材育成などを行いました。また、南房総市観光協会と協力し、宿泊施設・飲食店などを対象に、カロリー、栄養バランス、塩分量などチェックしたヘルシーメニューの開発を行いました。2年間で20店舗に協力いただき、今後の旅行会社とのツアー開催時に提供できるよう進めています。

このような活動を活かし、今後は「森林浴（Shinrin-yoku）」プログラムを作成し、提供する事業を始めたいと考えています。人間は自然に触れることで、ストレスが軽減され、免疫力が回復し病気への抵抗力を高めるという研究結果があります。森の中に入ることはメンタルヘルスにおいて有益だと言われているので、現在のコロナ禍

において、蜜にならず自然の中へ入りたいという人たちの心身のケアに最適ではないでしょうか。

南房総地域には人を癒す森や自然がたくさんあります。2019年の台風15号の影響で、いまだ倒木や階段の崩壊などで修復途中のところもあります。自然の近くに住んでみると、その森は誰かが整備し、手をかけてくれている人がいるからこそ、人間が安全に入ることができるということに改めて知りました。

森を活用するために人間の手が入ることは、獣害や自然災害等の対策につながります。地域の内外問わず、みんなで活用することで未来につないでいけたらと思います。そのことを、自然を求めて訪れる人たちにも知ってもらえるよう、まずは自分自身が森の整備やSDGsを学びながら、人間と自然のつながりを考えたプログラムを作成したいと考えています。



とみさんロード

運営委員会報告

「特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば」

環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことを目的とする。

お問い合わせ

事務局：〒262-0006 千葉県市花見川区横戸台21-13 特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

Tel : 090-8116-4633E-mail : info@kanpachiba.com

<https://kanpachiba.com/>

※会費や会員申し込みなどの情報は上記 HPでご確認ください。

12 月度運営委員会

日時 2020年12月10日 15:15~18:00

会場 Zoom オンラインミーティング

1 月度運営委員会

日時 2021年1月14日 15:00~18:00

会場 Zoom オンラインミーティング